



2024年2月8日

各 位

会 社 名 株式会社船井総研ホールディングス
代 表 者 名 代表取締役社長 グループCEO 中谷 貴之
(コード番号 9757 東証プライム市場)
問 合 せ 先 取締役専務執行役員
コーポレートマネジメント本部本部長 小野 達郎
(TEL. 06-6232-0130)

中期経営計画の修正に関するお知らせ

当社は、2024年2月8日開催の取締役会において、2023年2月8日に公表いたしました「中期経営計画（2023年～2025年）」につきまして、下記のとおり修正することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 中期経営計画の修正について

①業績計画

(単位：百万円)

	2023年12月期			
	当初計画	実績	計画比 (%)	前期比 (%)
売上高	28,500	28,238	-0.9	10.2
営業利益	7,900	7,247	-8.3	2.1

	2024年12月期				2025年12月期			
	当初計画	修正計画	計画比 (%)	前期比 (%)	当初計画	修正計画	計画比 (%)	前期比 (%)
売上高	32,000	30,500	-4.7	8.0	36,000	33,000	-8.3	8.2
営業利益	8,900	7,900	-11.2	9.0	10,000	8,900	-11.0	12.7

②資本効率

	2023年12月期	2025年12月期	
	実績	当初計画	修正計画
ROE	20.0%	20%以上	25%以上

2. 修正の理由

当社グループは、2023年12月期を開始年度とする3カ年の「中期経営計画（2023年12月期～2025年12月期）」を掲げております。そのような中、売上高は人財戦略の一つであるコンサルタントの増員が順調に進み、経営コンサルティング事業およびロジスティクス事業は当初の計画を上回る見込みである一方で、デジタルソリューション事業におきましては、当初事業計画に対して乖離が発生したため計画を下回る見込みです。利益面につきましては、デジタルソリューション事業の計画見直しとコンサルタントを中心とした継続的な人件費の上昇と昨今の物価高等を鑑み、業績計画を修正するものです。

一方、機動的な資本政策の遂行により資本効率が向上しており、当社グループにおける中期経営計画の資本効率目標を上記のとおり修正することといたしました。

また、本日（2024年2月8日）「2023年12月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」、「2023年12月期決算概要書」をあわせて公表しております。

以 上